

# GO! GO! よしひろ

Vol.19  
NOV.2009

りん!



埼玉県議会議員

## 鈴木よしひろ活動レポート

第19号

平成21年(2009)11月発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.misato-net.com/yosshi/> E-mail [yosshi@misato-net.com](mailto:yosshi@misato-net.com)

Think together  
Go together

# 9月定例会で一般質問

私はこの程、埼玉県議会9月定例会で9月30日に登壇し、一般質問を行いました。

今、政権交代は、大きな政策転換をもたらす。私はこのマニフェスト選挙の公約に掲げている政策の中で、埼玉県政に大変な影響が予想される事業を取り上げ、今後の県政の考え方、進め方について知事、執行部にたずねました。  
(ダイジェストは2面以降)

## 政権交代によって 県の政策には どんな影響が出るのか

鳩山政権は世界に「温室効果ガス2020年までに1990年比で25%削減する」と表明しました。この25%削減というのは埼玉県が策定した目標数値よりもケタ違いに高い目標です。まずこれを根本的に見直すのかを問いました。また、ハツ場ダムの建設を税金の無駄遣いとして、中止したことも埼玉県には波紋を拡げています。埼玉県はダム等の完成を見込んで川の水が豊かなときに限り取水できる暫定水利権でしのいでいるのか。また、近年でも洪水時に堤防の決壊に繋がる亀裂や漏水が見つかっており、利水・治水の面で本当に大丈夫なのかと懸念を率直に指摘し、対応をたずねました。

県の平成22年度予算編成は、国の方

## 今、考えていること

## 温室効果ガス25%削減、 ハツ場ダム、予算編成など どうするのか?



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ

針に準じて、予算編成にその考え方を導入するのですが、その場合、県の五年計画や数々の政策を盛り込んだ計画との整合性をどのように図るのか、県の独自色を出しながら立案する考えなのかが課題です。こういった国の政策転換による、県政の影響と課題について、知事に率直に注文をいたしました。

また、行政への要望が増え続ける現状の中、少子高齢社会が加速度的に進むことを考えれば、このままでは財政的にも立ち行かなくなることは明らかです。そこで行政サービスにおける受益と負担の在り方について、今後の県政の基本原則を明確にすることを求めました。一方、最小で最強の県庁を目指すという「新行財政改革プログラム」の職員定数削減に対し、これが単なる数字の削減を迫

ているだけなのではないのか、このまま10年後20年後やっていくのかとの危惧を訴えました。県職員は県民のために、強い使命感と高いスキルで職務に当たって欲しい。そのために、私は成果主義の導入、職員の質の向上を図ることの重要性を指摘し、県民の利益につながるよう、「職員の皆さん、頑張ってください」とエールを送る思いで、質問をしました。

## 政治の使命を思い 批判を恐れず 常に挑戦を続ける

知事・執行部にはかなり大胆で厳しい質問と捉えられましたが、結果、いくつかの点で明らかになったこともあり、受益者負担関連で行った「住民が行

政サービスの二翼を担う制度を確立すべき」という提言等には前向きな回答を得ることが出来ました。

30分の質問時間、1万字文字という限られた言葉にすべての思いを込めることは中々難しいものがあります。しかし、これからは日本人1億3000万人の国民が将来にわたり、安心して暮らしていく社会を実現するという、政治の究極の使命を踏まえた上で、今一度、この国をどうすればいいのか。そして、その枠組みの中で、埼玉県、そして三郷市がどう対応し、将来像を描いていくのか。こういったことに絶えず、思いを致しながら、これからも三郷、そして埼玉県の発展に向け、勇猛果敢に挑戦を続けて参ります。どうぞ、引き続きご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

REPORT

鈴木よしひろ「一般質問ダイジェスト

9月議会—政権交代を踏まえて、県政の基本姿勢を問いました。

鈴木県議 政権交代と県政の進め方についてどう考えるか？

政権の政策の矛盾への懸念と、国に県との立場をしっかりと主張するとの回答を引き出す。

鈴木県議

新しい政権がスタートし、マニフェストの公約に掲げている政策の中で、県政の運営で大変な影響が予想される事業についてお尋ねする。

鈴木県議

地球温暖化防止策として2020年における温室効果ガス排出量の中期目標を2005年比30%減、京都議定書の基準年比で25%減として、NPO法人環境自治体協議会の試算によれば高速道路無料化や自動車関連税の暫定税率廃止の二つの政策が実施されればCO2排出量が年間980万トン増えると言う。この試算が本当であれば2005年比0.7%の増加になり、政府の地球温暖化対策への姿勢が問われかねないし、新たに自動車利用

へ補助を始めた政府が温暖化対策を訴えてもなかなか理解が得られないだろう。高速道路無料化などとCO2削減の矛盾について、どのように考えているのか。

一般的には、高速道路が全て無料化され、また、自動車関連税の暫定税率廃止により、自動車取得費用や燃料代が低減すれば、公共交通から自動車交通にシフトする。ざくつと言えばCO2が増加する。このように考えている。

したがって、現段階では高速道路無料化、暫定税率廃止という政策と温暖化対策の推進とは矛盾するものと思われるが、このように思う。どのようにすれば、CO2を削減させることができるか、検討しながら進めていく必要があると思う。

鈴木県議

民主党のマニフェストでは、公共事業の削減がうたわれている。政権が交代したからといって、本県が優先する公共事業が滞ってはならないと考えるが如何か。

知事

民主党のマニフェストを踏まえ、前原国土交通大臣は就任会見で「時代に合わない国の大型直轄事業の全面的見直しや、国が行う事業につ

鈴木県議 ハツ場ダム建設は必要なのか。知事の見解は？

埼玉県として暫定水利権と治水の観点から必要であると明確に表明。

いは費用や効果を厳格に検証した上で進める」との方針を示した。私は、国民の安心・安全を守るための事業や、将来的な発展の基盤となる事業については、国の責任においてきちっと進めるべきだと言うふう

に思っている。それが前提にならなければ、前原大臣の記者会見だと私は思っている。

また、藤井財務大臣は民主党税制調査会長の折、ガソリン税などの暫定税率廃止の議論の中で、圏央道は優先されなければならない道路だと言った。このようにも言っていた。おのずから、全体としての原則として重要な部分での整備とは、それぞれしっかりと把握していただきたいと思っ

鈴木県議

八ツ場ダムは水道水の安定供給に必要な水源を確保するために、また、利根川の洪水から県民の皆様の生命、財産を守るために必要。ところが、前原国土交通大臣は民主党が総選挙で掲げたマニフェストをよりどころとして、二方的に、八ツ場ダムの中止の方針を示された。

知事

このことは、八ツ場ダムの建設が国と関係都県との共同事業として進められてきた経緯があるので、甚だ

総事業費4600億円の内、21年3月末までに3215億円の予算が執行されており、その必要性が争われている住民訴訟で、東京、前橋、水戸地裁において、ダム反対派が敗訴しているにも関わらず、建設を中止にするとの発言を前原国土交通大臣が行った。

我が県がこれまで人口規模や経済発展の点で全国に誇れる県として進展してきたのは、安定して供給できる水源の確保と比較的少ない災害地域の要件が整っていたのは紛れもない事実。県として国が代替案を提示した場合、どのような条件であれば、その案を受け入れることが可能か。

知事

八ツ場ダムは水道水の安定供給に必要な水源を確保するために、また、利根川の洪水から県民の皆様の生命、財産を守るために必要。ところが、前原国土交通大臣は民主党が総選挙で掲げたマニフェストをよりどころとして、二方的に、八ツ場ダムの中止の方針を示された。

と考える、今後の県政を進める上で原則を示すべきではないか。

知事

憲法第25条に定める「健康で文化的な最低限度の生活」を営むための社会保障としての公共サービスや、道路整備など幅広い範囲に効果が及ぶ公共財は社会全体の負担の中で対応すべきだと考えている。

一方、例えば公営住宅の整備は、入居する住民に一定の利益をもたらすので、こういう場合には自分の負担をお願いするものを基本的に考えている。

鈴木県議

地域で支え合う制度を普及し、住民に行政サービスの「裏を担った」べく制度を確立する考えはあるか。

知事

これまでのように、税金を使って公共サービスを行っていくだけに終始しては、人口の減少、高齢化に伴って、今行っている仕組みだけでは立ちゆかなくなると考えざるを得ない。まずは自助、共助、そして公助という段取りがあるが、とりわけ共助の仕組みというのを大きく増やしていかなければならないと考えている。

指摘にもあった秩父市、三郷市、深谷市で高齢者の日常生活上の困りごとに対応する「地域支え合いの仕組み」が一つの鍵ではないかと思っ

鈴木県議

一商店街と連携した有償ボランティアの仕組みを導入して、困っている高齢者をサポートしながら、ボランティア高齢者の介護予防とか商店街の活性化などの三石鳥を図るようなことがなされている。さらに、高齢者の交流の場や子ども預かりなど、石四鳥、五鳥の展開も工夫されつつある。こうした先導的に行われている秩父市、深谷市、三郷市の地域支え合いの取組を、私はこの埼玉県下で3年間で30市町村に広げなければならぬのではないかと目標を立て、静かにそれぞれのところと交渉をしている。

鈴木県議

さらに現金で税金を納めるのではなく、役務を税金として納めてもらう制度を考えられないか。

知事

役務を税金として納めるとのユニークな提案。現時点ではこうした納税方法が認められないが、税金を払ってサービスを受ける社会から、住民自身が地域のサービスを担う社会へ転換しようという考え方は多いに賛同できる。



質問一覧

- 1 政権交代と県政の進め方について(知事)
- 2 行政サービスにおける受益と負担の在り方について(知事)
- 3 公共調達について(塩川副知事)
- 4 人事管理の在り方について(塩川副知事)
  - 職員の皆様、頑張ってください！
- 5 学力テスト結果の公開と教育の諸課題について(教育長)
- 6 「老後を誰がみるのか」について(福祉部長)
- 7 地元問題について(県土整備部長)
  - ① 都市計画道路三郷吉川線、三郷流山線及び草加三郷線新中川橋の整備の進捗状況について
  - ② 東京外かく環状道路の首都高速湾岸線への延伸計画の進捗状況について

全文はホームページをご覧ください。



鈴木県議

遺憾に思うところ。地元住民や1都5県、流域の市町村との話し合いを行って、方針を決定するの筋ではないかと思っ

鈴木県議

代替案については、八ツ場ダムは事業費ベースで約70%の進捗となっており、平成27年度に完成し、利水治水の効果が発揮されることになっている。

鈴木県議

このため、代替案としては、基本的に八ツ場ダムと同等以上の利水、治水の効果があと6年で得られ、事業に係る負担が八ツ場ダムより少ないことが検討の前提ではないかと思う。当然ながら、地元の方々への対応を国においてしっかりとやっていた

鈴木県議

だが、地元の方々に納得いただくことが、前提であると思っ

利権でしっているが、これからは暫定でやっつけられるのか。

知事

利根川水系では、暫定水利権は治水時に安定水利権に比べて厳しい取水制限が行われている。平成になつても6回の治水による取水制限が行われている。

暫定水利権のほとんどは八ツ場ダムに参加することにより取得したものであり、ダムの完成によつて、はじめて安定水利権となる。県民の皆様には、八ツ場ダムの完成による安定水利権の確保が重要だと思っ

る。

※水利権とは、「河川の流水を排他的に使用できる権利」。河川法に基づき、水道水、工業用水、農業用水、発電などの各利用者が河川管

鈴木県議 行政サービスにおける受益と負担の在り方について提案

知事は、鈴木県議の考えに賛意を示し、その提案を前向きに検討すると表明

鈴木県議

埼玉県も今後、加速度的に高齢化のスピードが速くなるのが予想されている。公共サービスを受ける側にも一定のルールがなければ財政が立ち行かなくなるのは目に見えている。

ある特定の公共財の建設や改良を行うことにより、特にその利益を受けるものがその利益に応じて原則としてその経費を負担する受益者負担の原則がある。経済が疲弊し、住民ニーズがあるからと、受益者負担の原則が、なし崩しになっている

REPORT

9月議会でも地元問題についても質問  
重要道路の整備状況を聞き、さらなる促進を要望。

鈴木県議は、9月議会でも、地元に関心の高い、三郷吉川線・三郷流山線などの道路整備の状況を県土整備部長に伺いました。開通の見通しを明らかにした上で、地域の交通事情を踏まえ、さらなる道路整備促進を要望しました。



都市計画道路三郷吉川線、三郷流山線及び草加三郷線新中川橋の整備の進捗よく状況

都市計画道路三郷吉川線は、三郷市内において、国道298号から県道草加流山線までの約0.7キロメートルが供用。さらに、県道草加流山線から吉川市境についても約7割の工事が完了。三郷市内、平成22年度末の供用開始を目指している。都市計画道路三郷流山線は、都市計画道路三郷吉川線から市道0

東京外かく環状道路の首都高速湾岸線への延伸計画の進捗よく状況

11号線までの約1キロメートルの区間について、現在、用地買収率は49パーセント。その東側についても、測量や設計などの調査を行っている。(仮称)新中川橋は平成21年度は、取り付け道路(仮設橋)を(さんばし)の撤去工事を進めており、平成22年には開通出来る見込み。

東京外かく環状道路の埼玉県から湾岸線までの区間は、自動車専用部と一般部の国道298号で構成され、国は、平成27年度の本線開通を目標に事業を進めている。用地買収は、埼玉県、東京都区間は完了しており、千葉県区間は約96パーセントとなっている。



地元からも約200名の方々が傍聴にお越し下さいました。

鈴木よしひろ県議 テレビ埼玉で語ります。

**こんにちは県議会です**  
「特別委員会だより」

ぜひご覧ください!  
[テレビ埼玉] 11月22日(日)  
午前 10時~10時15分



工事は、自動車専用部は三郷南インターチェンジまでが供用済み。一般部の国道298号は、埼玉県内から千葉県内の国道6号交差点部までが4車線その先の松戸市内までの1キロメートルが暫定2車線で供用済み。本年8月には、首都高湾岸線と並行する国道357号から埼玉方面約3キロメートル区間が暫定2車線で開通。残る区間約7キロメートルについて、自動車専用部と併せて工事が進められている。

平成21年

**ヨソソンの活動日誌**

※主に埼玉県議会議員としての公務を中心にした活動報告です。

9月 6日	三郷市少年野球連盟秋季大会 (半田運動公園)、第25回近隣市町交流バレーボール大会 (三郷総合体育館)	9月 7日~9日	警察危機管理防災委員会視察 (大阪府浪速少年院~兵庫県庁~兵庫県広域防災センター~岡山県警察本部)	10月 12日	第51回三郷市民体育祭 (三郷市内6会場)
9月 12日	第29回埼玉県市町村職員親善剣道大会 (蕨市市民体育館)	9月 14日	ららほっとみさとオープニングパーティー	10月 16日	シルバー元気塾特別講座 (総合体育館)
9月 19日	(社)三郷青年会議所創立30周年記念式典~祝賀会 (三郷市文化会館)	9月 24日	9月定例会開会 (~10月15日まで)、全国青年部長・青年局長・女性部(局)長合同会議 (自民党本部)、自民党総裁選挙公開討論会 (自民党本部)	10月 17日	第24回日韓児童画交流展及び表彰式 (三郷市文化会館)
9月 30日	定例会一般質問	10月 23日	第1回「党勢回復会議」(埼玉県連)	10月 18日	三郷市社交ダンス連盟第24回ダンスパーティー (三郷市勤労者体育館)、吉川警察署管内第7回交通安全大会 (三郷市文化会館)
10月 4日	第22回三郷市空手道選手権大会 (三郷市総合体育館)、第5回みさと子育てフェスタ (瑞沼市民センター)	10月 24日	埼玉県立三郷特別支援学校創立30周年記念式典 (三郷市文化会館大ホール)	10月 26日	第61回優良消防団優良消防団員及び消防功労者並びに勤続20年消防団員家族の定例表彰式 (埼玉会館)
10月 10日	第9回美術サークル合同展 (三郷市文化会館)、第28回三郷市合同金婚式 (鷹野文化センター)	10月 30日	第55回埼玉県国土利用計画審議会 (浦和ワシントンホテル)、第21回全国生涯学習フェスティバル開会式 (さいたまスーパーアリーナ)	10月 31日	第42回市民文化祭 (三郷市文化会館)
10月 11日	平成21年埼玉県防犯のまちづくり県民大会				

埼玉県議会議員

**鈴木よしひろ** 47歳

連絡先/〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木よしひろプロフィール

●昭和37年11月生●三郷市立吹上小~栄中学~日本大学第一高校~日本大学工学部卒●参議院議員・(故)土屋義彦秘書~平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在3期)●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等